

社内のサーバー・社内の MCP サーバーを、受信ポートを一切開けずに、固定の HTTPS アドレスで安全に共有できるサービスです。社内に置いた小さなプログラム（WireCanal Agent）が外向きに接続するだけなので、ファイアウォール設定の変更も VPN も不要。チームプランなら、この仕組みをチーム全員で・管理者の見える化つきで使えます。

1 何ができるか



- ローカル・イントラの Web/API/MCP サーバーを <https://<名前>.wirecanal.com>（独自ドメインも可・証明書自動発行）で常設公開。
- AI 連携の「門番」: 社内 MCP サーバーのツールを許可したものだけ AI（Claude・ChatGPT 等）へ見せる。許可していないツールは一覧にも現れず、許可の台帳は社内側だけが変更できます（two-key）。AI の操作は記録が残ります。

2 セキュリティ設計（企業利用を前提にした「閉じる」設計）

- 転送先の固定: Agent は設定した転送先（localhost 等）以外へ絶対に接続しない設計。トンネルを入れても、社内の別システムへの通り道は生まれません。
- fail-closed: 設定・判定に迷いが出た場合は「通さない」側へ倒す設計を全域で統一。
- 受信ポート開放・VPN 不要: 社内→外の接続だけで成立（mTLS で相互認証）。
- 公開面の保護: 接続元 IP 制限・BASIC/Bearer 認証・国別/時間帯の公開範囲・連続失敗時の自動一時停止 等 8 種を canal 単位で設定。
- 記録と見える化: アクセスログ・操作イベント履歴を管理画面で確認できます。
- 国内完結: 運営会社・サーバー・サポート・課金（円建て税込）まで日本国内。

3 費用（税込・定額・転送量の追加課金なし）

チームプラン

月額 49,800 円（10 席・canal 200 本つき）

1 人あたり 4,980 円/月。追加席も 1 席 4,980 円のフラット単価。年払いは 2 ヶ月分無料（1 席 49,800 円/年・お申し込み画面でお支払い周期を選べます）。

- 上位個人プラン（プレミアム 11,800 円/月）を 10 人で契約するより **57% お得**。メンバー全員が独自ドメイン・公開 API・サポートチャット・TCP/MCP まで利用できます。
- チーム全体で 200 本の canal（公開する口）が使えます（プレミアム= 20 本の 10 倍・チーム共有プール）。申込み・メンバー招待・席数変更まで Web 画面で完結（請求書払いはエンタープライズ契約で対応）。

4 海外サービス（ngrok 等）との違い（要約）

観点	WireCanal	海外の同種サービス（例: ngrok）
運営・管理主体	日本企業（Qualiteg）・国内サーバーで完結。日本語 UI/サポート・円建て税込・請求書払い可	米国企業・ドル建て・英語中心（東京拠点はあり）
料金の性格	定額。転送量の追加課金なし（目安超過時は速度調整のみ）	従量要素あり（転送量・リクエスト数・稼働時間で加算）
AI・MCP 連携	ツール単位の公開制御・two-key・操作記録を標準搭載	汎用の前段ポリシーで構成（ツール単位の制御は作り込み）
社内側の安全性	転送先の固定（設定外へは接続しない設計）	転送先は起動時に自由指定（運用規律に依存）

※ 同種サービスでできることは、おおむね WireCanal でもできます。上記は 2026-08 時点の公開情報に基づく前向き比較です。